

- 立科小学校/午前9時～午前11時30分  
電話 56-3131(呼)・有線2190(呼)
- 立科中学校/午後2時～午後5時  
電話 56-1076(呼)・有線2251(呼)
- 立科町児童館/  
午前 11時40分～午後1時30分  
電話 56-0303(直通)  
有線 8889(直通)

※予約をされる方は児童館または小・中学校の  
教頭先生へご連絡をお願いします。

# がんば 「頑張れ、もっと頑張れ!」と 「頑張らなくてもいい。」 ～相反する情報と価値観の渦中で～

立科町教育相談員 岩上起美男

先人の教訓と知恵を伝えることわざや格言、故事成語には、次のような、相反する教えを説くものがあります。

「善は急げ」「巧遅は拙速に如かず」

↑「急いで事は仕損じる」「急がば回れ」「待てば海路の日和あり」(よいことは直ちに実行しなさい、下手でも早く仕上げたほうがよいという教えに対して、急ぐと、失敗するという教え)

「虎穴に入らずんば虎子を得ず」↑↓「君子危うきに近寄らず」(危険を冒さなければ、大きな目的は達成できないという教えに対して、教養が高く、立派な人は危険には近づかないという教え)

「三度目の正直」↑↓「二度あることは三度ある」(一回目や二回目は当てにならず、三回目の結果が正しいという教えに対して、二度起こったことは三度目も起こるとい教え)

「二兎追う者は一兎も得ず」「虻蜂取らず」↑↓「一石二鳥」「一挙兩得」(欲張って一度に二つのことをしようとしても、どちらもうまくいかないという教えに対して、一つのことをして同時に二つの利を得るとい教え)

「大は小を兼ねる」↑↓「杓子は耳搔きにならず」(大きい物は小さい物の代わりになるとい教えに対して、大きい物が必ずしも小さい物の代わりになると

は限らないという教え)

「鶏口牛後」↑↓「寄らば大樹の陰」

(大きな組織の下にいるより、小さな組織でも上に立つほうがよいという教えに対して、身を寄せるなら、勢力のある大きな組織のほうがよいという教え)

「金は天下の回り物」↑↓「金は片行き」(金は常に世の中を回っているの、真面目に働いていれば、そのうちに必ず回ってくるという教えに対して、金は、持っている者の所にどんどん集まり、持っていない者にはなかなか回ってこないという教え)

このようなことわざや格言は、明らかに矛盾する教えを説いています。

しかし、矛盾を超えた、先人の迷える人々に対する慈しみを感じるからなのでしょう。か、老生の知る限り、その矛盾に目くらまを立てる人はいません。正反対のケースにも当てはまる教訓や「逃げ場」が周到に用意され、その時の状況及び心理状態に応じて、自分自身を決定的に傷付けない教えが選択できるのは、まさに有難いことです。

たとえば、二度失敗した後、三度目にも挑戦するときは、「三度目の正直」とい教えにすぎり、逆に、三度目に挑戦しないときは、「二度あることは三度ある」とい教えを判断の根拠とし、気持

ちを納得させることができます。

S

今日の情報化社会においては、ことわざや格言の矛盾などは比べようもないほど複雑で、多岐にわたる情報や主張、提言、意見が氾濫しています。

そのため、「一体、どの情報が正しいのだろうか?」どの情報を自分の行動や判断の根拠にしたらいのだろうか?と迷い、自信を持って情報選択することができずに困っている方がいらっしやるのではないのでしょうか。

教育相談員は、政治的目的のために、特定の主義・主張を喧伝したり、押し付けたり、また、否定したりするような政治的行為をしてはならない、と自覚しています。したがって、次に政治の領域にも触れますが、決して政治的目的ではなく、今日の子育て及び教育の大変さの背景にある要因として挙げましたので、その旨、ご理解をいただきたく存じます。

○「護憲」を唱える人がいます。一方、「改憲」を唱える人がいます。

○「日本は、過去の反省と教訓を基に永久に戦争を放棄する平和国家である。」と信じつつ、日本を先導するリーダーの言動や国策に不穏な足音を感じ、日本の前途を憂える人がいます。一方、「日本は、絶対に他国を侵略しないが、